

Autodesk Smoke 2013

システムドライブにあるデータのアーカイブについて

概要

推奨している Smoke システムのバックアップは Smoke アプリケーションでプロジェクトのメディアとセットアップのアーカイブをとり、リモートのファイルサーバーまたはストレージデバイスに保存することです。ストレージまたはシステムの故障からメディアを守るために必要に応じて行います。

しかしながら、Smoke 内でのアーカイブのアプローチはシステムドライブ上に含まれているデータを一緒に保護してくれません。システムドライブにはメディアデータはありませんが、重要なプロジェクトデータがあります。システムドライブのバックアップをしないで、ドライブやハードウェアの故障があった場合には、各アーカイブをリストアしてプロジェクトデータを再構築します。SAN などがある大きなストレージ環境では、これは大変時間のかかる作業になります。このような環境では、主要なシステムドライブ情報を保存するために、システムドライブ内のデータのバックアップを取ることを検討してください。複数のプロジェクトアーカイブの復元が容易になります。

システムドライブのバックアップがあっても、システムドライブが故障した場合には、ソフトウェアの再インストールし、アーカイブされたプロジェクトをリストアする必要があります。

システムのバックアップするにはその方法とそれ向けのツールがいくつかあります。方法とツールに関しては、自分にあったものを選んでください。Autodesk では、特定のツールをお勧めすることはありません。ただ、バックアップをしたほうがいいと思う重要なディレクトリだけを提示します。使用するツールの要件に従って、システムドライブのすべてをバックアップするのか、次の重要なファイルやディレクトリだけをバックアップするのかを決めます。

ファイル / ディレクトリ	目的	システムドライブをバックアップしていない場合の故障した結果
/usr/discreet/clip	すべてのクリップのメタデータが含まれていません。	有効なアーカイブをリストアして、メタデータを再作成する必要があります。
/usr/discreet/project	名前や解像度、ユーザー情報などの設定を含んだプロジェクト全体の構成が含まれています。	有効なアーカイブをリストアして、プロジェクト設定を再作成する必要があります。
/usr/discreet/sw/swdb	標準的なファイルシステムのリンクのデータベースが含まれています。	共有された SAN ボリューム上のメディアは再インポートする必要があります。
/usr/discreet/sw	すべての Stone® and Wire ソフトウェアと構成ファイルが含まれており、前述の swdb のディレクトリを含みます。	Stone® and Wire 設定は再インストール後、再構築する必要があります。
/usr/discreet	プロダクトソフトウェアが含まれています。また、この表で記述された他のすべてのディレクトリも含まれています。	この項目のすべての結果を参照してください。すべての重要なデータをリストアしたい場合には、このディレクトリをバックアップします。いくつかの余分なファイル(今は使用しない古いバージョンのアプリケーションなど)が含まれていることは気にしないでください。

注意 : /usr/discreet/sw/swdb をコピーする際は、stone+wire のサービスを必ず止めてから行います。